

## 都市間交通サマーセミナー「都市間交通を考える 2010」

主催	都市間交通研究会
代表	奥村 誠（東北大学教授）
幹事	塚井誠人（広島大学准教授）
開催校幹事	日比野直彦（政策研究大学院大学准教授）

日 時 : 平成 22 年 9 月 15 日 (水) 13 : 00 ~ 9 月 16 日 (木) 16 : 30

場 所 : 政策研究大学院大学 講義室 L (5 階)

(<http://www.grips.ac.jp/jp/about/access.html>)

対 象 : 都市間交通研究に興味のある学部生・大学院生他

定 員 : 50 名 (部分的な講義の聴講も可能です)

参加費 : 無 料 (懇親会の実費は別途集めます)

趣旨 : 産業活動のグローバル化が進む中、日本においても経済活動はひとつの都市の中では収まらなくなり、多くの人々が業務のために国内外の都市間を移動しています。国内航空や新幹線のサービス向上や高速道路網の地方部への進展により、これまでは行きにくかったような観光地にも、安価に気軽に出かけられるようになってきました。一方で、インターネットの普及により企業では出張業務が減少しており、人口の本格的な減少と相まって、国内の旅客流動は減少するという予測もあり、現在構想されている新幹線のさらなる整備が本当に必要か？という問いに対しても、確定的な答えがあるわけではありません。

このような問題を考えるためには、都市間交通の分析や研究を強化していくことが必要ですが、歴史的に蓄積のある都市交通計画に比べると、まだまだ十分な研究が行われているとはいえません。それは調査が難しく、十分なデータが収集されていなかったことのほか、便の頻度がサービスのレベルを大きく作用していること、旅行者が必ずしも完全な情報を持って行動していないことなどに起因して、都市交通計画で使われているモデルをうまく適用できなかったことが原因となっています。

本スクールでは、このような都市間交通の特徴、利用できるデータの特徴を紹介し、それらに対応するためのモデリング手法の紹介を行い、データ集計や行動モデル作成の実習を通して、都市間交通に興味のある学生諸君の研究活動をアシストすることを目的としています。4 回目の本年度は過去 3 回の経験を踏まえ、実務者からの話題提供、都市間ネットワーク計画論など多面的な内容となるように企画しています。

ここで扱う手法は、都市間交通以外のフィールドでも役立つものです。ぜひ奮って参加をしていただきますよう、よろしくお願いいたします。

## 時 間 割

9/15 (水) 13:00-18:00 交通需要予測・行動分析・評価編			9/16 (木) 9:00-16:30 都市間交通政策・ネットワーク分析・演習編		
昼食 (各自) 			朝食 (各自) 		
13:00-13:10	受付 (演習・懇親会参加者)	大 窪	9:00- 9:30	演習課題説明 (要 PC)	塚 井
13:10-13:30	オープニング (開会の挨拶)	奥 村	9:30-9:40	休憩 	
13:30-14:30	都市間交通の特徴と計画上の課題	奥 村	9:40-11:00	演習 (要 PC)	個 別
14:30-14:40	休憩 		11:00-11:10	休憩 	
14:40-15:40	全国都市間旅客需要予測モデルの開発	遠 藤	11:10-12:10	都市間交通ネットワーク評価	波 床
15:40-15:50	休憩 		12:10-13:30	昼食 (各自) 	
15:50-16:50	選択肢集合形成・券種選択	柴 田	13:30-14:15 14:15-15:00	航空政策と航空網の変遷 観光政策と国内観光行動	日比野
16:50-17:00	休憩 		15:00-15:10	休憩 	
17:00-18:00	幹線交通施設の多面的評価	福 田	15:10-16:10	企業立地と交通流動	塚 井
18:00~	懇親会		16:10-16:30	クロージング	

- ・ 講義は 45~50 分程度／質疑は 10~15 分程度とする。
- ・ 講師資料送付先 (9/14 17:00 まで, okubo@cneas.tohoku.ac.jp)
- ・ PC 持参のこと。
- ・ 懇親会は, 学外 (六本木) で開催。